



発行 長野県中野立志館高等学校 ☎ 0269-22-2141 ☎ 0269-24-1251
<http://www.nagano-c.ed.jp/rishikan> ✉ rishikan@nagano-c.ed.jp



厳しい冬の寒さのなか、本校生徒の活躍(スキー部)と近況をここに報告します。なお、開催中の大会及びその他詳細については主催者発表のものを御確認下さい。

長野県スキー連盟 (<http://www.ski-nagano.org/top/>)

平成 30 年度冬季スキー競技の結果

ノルディック

男女ともに 4 位入賞

・第 68 回全国高等学校スキー大会

(2/9～2/12 秋田県鹿角市) において開催

総合	男子学校対抗	4 位	(23 点)
	女子学校対抗	4 位	(17 点)
男子 10KM フリー	笠原 将	6 位	(25:37.0)
女子 5KM フリー	山崎愛深	9 位	(14:36.4)
	笠原ひな	10 位	(14:36.8)
男子 10KM クラシカル	笠原 将	2 位	(25:59.2)
	湯本幸耶	9 位	(26:40.3)
女子 5KM クラシカル	笠原ひな	7 位	(14:46.9)
	竹節未羽	10 位	(14:53.6)

男子 4×10KM リレー	4 位	(1:52:37.1)
藤沢樹、湯本幸耶、笠原 将、青木力杜		
女子 3×5KM リレー	4 位	(49:01.0)

竹節未羽、山崎愛美、笠原ひな

・第 74 回国民体育大会冬季大会スキー競技会 (2/14～2/17)
 (イランカラブテくしろさっぽろ国体)

少年女子	5 km クラシカル	走者 81 名
第 6 位	笠原ひな	(3) 16:47.9
少年男子	10 km クラシカル	走者 123 名
第 15 位	笠原 将	(1) 14:14.0

アルペン

・第 71 回県高等学校スキー競技選手権大会

(長野県西館山回転コース) において開催

1/17

男子回転	10 位	畔上大地	(1:47.20)
	15 位	常田真矢	(1:48.54)
女子回転	8 位	大野彩佳	(1:49.00)
	21 位	外山可乃	(1:58.25)

1/18

男子大回転	18 位	畔上大地	(1:47.20)
	24 位	常田真矢	(1:48.54)
女子大回転	7 位	大野彩佳	(1:49.00)
	23 位	外山可乃	(1:54.06)

1/19 国体予選

少年男子回転	7 位	畔上大地	(49.36)
	26 位	常田真矢	(51.12)
少年女子回転	14 位	大野彩佳	(54.44)
	30 位	外山可乃	(57.56)

・第 68 回全国高等学校スキー大会

(秋田県鹿角市花輪スキー場) において開催

2/9

女子大回転	60 位	大野彩佳	(2:18.61)
-------	------	------	-----------

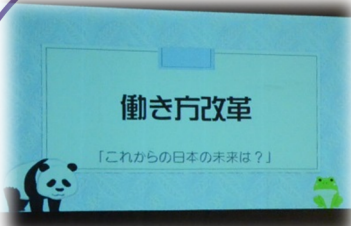
2/11

女子回転	50 位	大野彩佳	(1:53.36)
------	------	------	-----------



※この後の大会予定: 高校選抜/ノルディック 2/25(月)～2/28(木)、アルペン 3/12(火)～3/15(金)

第10回成果発表会を開催しました



社会の講座：働き方改革について、考えてみました

校内ではできない授業、就業体験実習についての発表

1月29日(火)、総合学科で学び、研究した成果の発表する場として、『成果発表会』が中野市民会館を会場に行われました。発表の前半は、総合的な学習の時間に研究したテーマ(3年生/7本)と九州・関西方面への修学旅行記(2年生)を、後半は「産業社会と人間」(1年生)で学んだ内容と専門科(5本)の発表がありました。学習の成果発表会は、それぞれのテーマにおいて、情報収集、分析、構想に時間をかけて作り上げたところが要所にみられ、“わかりやすい”内容になっているのも今年の特徴でした。なお、会場入り口には、「選択科目のファッション造形基礎・建築構造」で作った着物や、1/20の住宅骨組み模型、「総合的な学習の時間」英語の授業での英語版紙芝居「黒姫物語」などが展示されていました。

また、学校評議員の方にも出席していただき、本校の教育に関する理解を深めていただきました。



ファッション造形基礎の授業に作りました作品



中野市の魅力を外国人に伝えたい！
英語の紙芝居(黒姫物語)



どれも丁寧に作られていました

第5回長野県高校生溶接コンクール

12月15日(土)に本校で長野県高校溶接コンクールが開催されました。池田工業高校、松本工業高校、本校から各校2名の代表選手が、長野県溶接協会の方や学校職員が見守る中、日ごろ鍛えた技術の成果を競いました。

競技方法は、15cm×12cm、厚さ9ミリの鉄板2枚を、隙間を空けた状態で裏当て金なしで溶接し、外観試験や超音波試験で審査されました。溶接材が抜け落ちるなど難易度の高いものでした。

本校から出場した汲川選手(1年生)との徳竹選手(2年生)は外観試験で、表面、裏面とも満点を獲得し、僅差で汲川選手が最優秀賞、徳竹選手が優秀賞に選ばれました。2名は長野県代表として4月に行われる関東甲信越大会の出場権を獲得するとともに、中野立志館高校の県大会3連覇に華を添えた。



被覆アーク溶接(手溶接)をする生徒(徳竹克彦選手)



選手と大会関係者で記念撮影
(機械電気科棟講義室)

溶接技術は、どこに
使われているかご存
知ですか？実は身近
にあるのです。鉄骨の
建物、橋、などに使わ
れ、ほかには、皆さん
がよく使っている乗り
物(自動車、電車)に
も溶接技術は使われ
ています。とても大事
な技術です。興味があ
る人は、中野立志館
で学んで、身に着けて
みませんか。

今後の予定

3月2日(土)卒業式、3月25日(月)終業式、4月3日(水)始業式、4月4日(木)入学式